

房総の文化財

VOL.57



耳飾り状木製品(復元複製品)



金鈴

和同開珎



植刃器試作品



Ⅲ層出土石器



遺跡見学会風景

- 【遺物紹介】よみがえった耳飾りー復元複製品をつくるー
(市川市道免き谷津遺跡)
- 【遺跡紹介】細石刃ってなに？(多古町一ツ塚遺跡)
こんなところも掘ってます!! (横芝光町・芝山町高谷川低地遺跡)
- 【遺跡見学会報告】多古町千田の台遺跡
- 【平成30年度出土遺物公開事業のお知らせ】『千葉寺地区の遺跡展』



よみがえった 耳飾り

復元複製品をつくる

市川市
道免き谷津遺跡

平成26年7月～11月にかけて行われた道免き谷津遺跡第1地点(12)の発掘調査では、斜面から谷津にかけての区域で縄文時代後期～晩期を中心とする土器や加工木材が出土しました。今回複製の対象とした漆塗りの耳飾り状木製品は、これらの加工木材や土器とともに、台地の肩部から斜面に移行する地点で発見されました。



道免き谷津遺跡の位置



耳飾り状木製品の出土位置



耳飾り状木製品周辺の遺物出土状況



耳飾り状木製品出土状況

復元複製の工程

複製品製作は、当財団の普及事業の一環として行いました。※保存処理及び複製品製作は(公財)元興寺文化財研究所に委託



耳飾り状木製品(保存処理後)



トチノキ材とレプリカ

加工終了



文様の割り付け

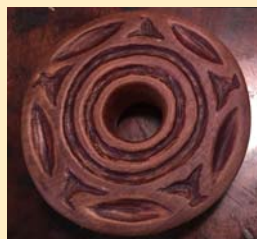


文様の彫り始めの状態

耳飾り状木製品は、トチノキの木の芯を外した材を使用していたことが明らかであったため、適当な大きさの木材がなかなか入手できませんでした。縦8cm、横8cm、高さ5cmの大きさの木取りを参考に選定し、岩手県から木材を入手することができました。その後、昨年度製作したレプリカ及び、当財団で作成した復元実測図をもとに木胎の加工を行いました。



木胎と生漆



木地固め直後



炭粉を蒔く



ベンガラ塗りの1層目



水銀朱を上塗りして完成

採取した漆を濾過した生漆を木胎に染みこませて木地固めをし、乾燥させた後に炭粉を蒔いて下地とします。その上に、酸化鉄の顔料を練り合わせた赤褐色のベンガラ漆を4回塗り重ねます。4層目を塗布後に磨きを加え、最後に水銀朱を上塗りして完成です。水銀朱は、硫化水銀からなる鉱物(辰砂)を精製したもので、「丹」とも呼ばれ、古くから珍重されてきました。

一ツ塚遺跡

道免き谷津遺跡・高谷川低地遺跡

BC(紀元前)

旧石器時代

約30,000年前

縄文時代

約12,000年前

弥生

約2,300年前

遺跡紹介

さい
細

せき
石

じん
刃

ってなに？

首都圏中央連絡自動車道建設(大栄～横芝)に伴う^{ひとつか}一ツ塚遺跡の発掘調査が平成28年9月～11月にかけて行われました。対象面積は12,000㎡ほどありましたが、攪乱等が激しく、遺構としては、縄文時代早期の^{おとしあな}陥穴3基と古墳時代後期の古墳(円墳)が1基検出されたのみでした。



植刃器試作品

古墳の周溝の調査中に、覆土中から旧石器時代の石器が見つかったことから、周囲を広げて調査したところ、立川ローム層Ⅲ層上面から合計130点以上もの石器が出土しました。

この資料は、約12,000年前の旧石器時代終末期の石器群です。の中には、^{ぞうき さっき}搔器・削器(写真中央上部)なども含まれていますが、装備の中心は、写真中央の^{さいせきじん}細石刃、左側の細石刃核です。細石刃は小型の長方形の石の欠片であり、細石刃核から生産されました。写真の細石刃核には細石刃が剥ぎ取られた跡が整然と並んでおり、そのことをよく物語っています。

生産された細石刃は、動物の骨や角を槍形に成形し、側縁に溝が掘られた軸に埋め込まれ、松ヤニやニカワ等の天然の接着剤で固定されました。できあがったものは、「植刃器」あるいは「植刃槍」と呼ばれ、投げ槍やナイフとして使用されました。埋め込まれた細石刃が摩耗して使えなくなったときは、カミソリの替え刃のようにその都度交換されたようです。

なお、我が国ではいまだ植刃器の出土例はありませんが、試作品を作成しましたので参考にして下さい。



細石刃核

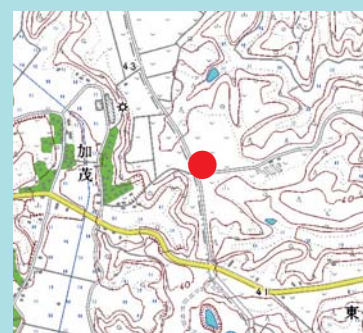


Ⅲ層出土石器と植刃器試作品



Ⅲ層石器出土状況

多古町 一ツ塚遺跡



一ツ塚遺跡位置図

横芝光町・芝山町高谷川低地遺跡

こんなところも掘ってます!!

^{たかやがわ}高谷川低地遺跡は、高谷川の両岸に広がる水田の中にあります。水田調査は水との戦いです。一方、低地の調査では、台地上では見られない木製品などの有機質の遺物が遺存していることが多く、当時の生活を知る上で重要な資料を提供してくれます。現在調査中で、今後に期待される遺跡です。



縄文土器出土状況



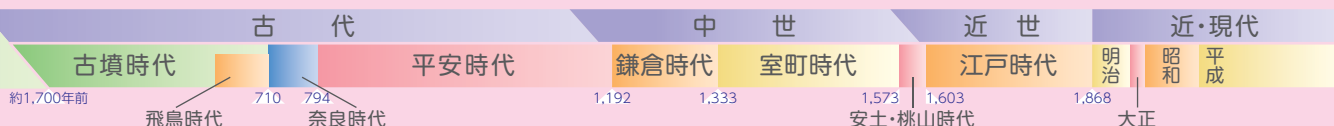
縄文時代後期の土器(中央の土器が左側の写真の土器)



高谷川低地遺跡(1)位置図

AD(紀元後)

時代



多古町千田の台遺跡

遺跡見学会は、当財団の普及事業の一環として実施しております。

今回の遺跡見学会は、奈良・平安時代を中心とした集落が調査された香取郡多古町に所在する千田の台遺跡を会場に、平成29年8月5日(土)に開催しました。

参加者は、遺跡全体の説明後、竪穴住居跡などを間近に見ながら解説員の説明を熱心に聞いていました。また、出土したばかりの土器や鉄製品などの遺物やパネルの展示は、たいへん好評でした。

当日は、朝方まで雨が降り、蒸し暑い天気にもかかわらず、周辺住民を主体に、146名もの多くの見学者に訪れていただきました。



遺跡見学会の現地説明の様子



千田の台遺跡全景



展示した遺物(奈良・平安時代)



遺物展示の見学風景

平成30年度出土遺物公開事業のお知らせ

千葉寺地区の遺跡展

当時の都市基盤整備公団(現UR都市機構)による千葉寺地区土地区画整理事業に伴って、昭和60年度から平成11年度までの長期間にかけて継続的に発掘調査が行われました。対象となった遺跡は、千葉市中野台遺跡・観音塚遺跡・鷲谷津遺跡・地蔵山遺跡・荒久遺跡の合計5遺跡で、旧石器時代～中・近世の遺構や遺物が発見されました。

特に、中野台遺跡で確認された弥生時代中期後半の方形周溝墓群や、隣接する観音塚遺跡と鷲谷津遺跡で調査された奈良・平安時代の大集落が注目されます。

今回の展示会では、上記の両時代を中心に、各時代の主な資料をご紹介します。

観音塚遺跡出土



金鈴



和同開珎

【展示会場と期間】

- 千葉県立房総のむら 風土記の丘資料館／平成30年7月14日(土)～平成30年9月24日(月・祝)
- 千葉市立郷土博物館／平成30年10月20日(土)～平成30年12月16日(日)
※この会場では、奈良・平安時代のみミニ展示となります。
- 千葉県立中央博物館／平成31年1月12日(土)～平成31年2月3日(日)
平成31年1月20日(日)には、千葉県立中央博物館で講演会を予定しています。